

令和元年度柴田町議会7月会議会議録（第1号）

出席議員（17名）

1番	森	裕樹	君	2番	加藤	滋	君
3番	安藤	義憲	君	4番	平間	幸弘	君
5番	桜場	政行	君	6番	吉田	和夫	君
7番	秋本	好則	君	8番	斎藤	義勝	君
9番	平間	奈緒美	君	10番	佐々木	裕子	君
11番	安部	俊三	君	12番	森	淑子	君
13番	広沢	真	君	14番	有賀	光子	君
16番	白内	恵美子	君	17番	水戸	義裕	君
18番	高橋	たい子	君				

欠席議員（1名）

15番	舟山	彰	君
-----	----	---	---

説明のため出席した者

町長部局

町長	滝口	茂	君
副町長	水戸	敏見	君
総務課長 併 選挙管理委員会書記長	佐藤	芳	君
まちづくり政策課長	平間	雅博	君
財政課長	鈴木	俊昭	君
農政課長 併 農業委員会事務局長	瀬戸	諭	君

教育委員会部局

教育長	船迫	邦則	君
生涯学習課長	藤原	政志	君

事務局職員出席者

議 会 事 務 局 長		大川原 真 一
次	長	畑 山 慎太郎
主	幹	伊 藤 純 子
主	査	佐 山 亨

議 事 日 程 (第1号)

令和元年7月12日(金曜日) 午後1時30分 再 会

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 開催期間の決定

第 3 議案第16号 令和元年度柴田町一般会計補正予算

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午後1時30分 再会

○議長（高橋たい子君） こんにちは。

ただいまの出席議員数は17名であります。定足数に達しておりますので、議会は成立いたしました。

これより令和元年度柴田町議会7月会議を開きます。

直ちに本日の会議を開きます。

欠席通告が15番舟山彰君からありました。

なお、議案等の説明のため、地方自治法第121条の規定により、説明員として町長以下関係所管課長等の出席を求めています。

また、執行部への出席要求は、議会基本条例第5条第2項の規定により、必要最小限にとどめておりますことをご承知ください。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付のとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（高橋たい子君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、議長において14番有賀光子さん、16番白内恵美子さんを指名いたします。

日程第2 開催期間の決定

○議長（高橋たい子君） 日程第2、開催期間の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。7月会議の開催期間については、議会運営委員会の協議の結果、本日1日と意見が一致いたしました。よって、7月会議の開催期間は本日1日とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） 異議なしと認めます。よって、開催期間は本日1日と決しました。

また、7月会議中、報道関係等の取材を許可しておりますので、ご了承願います。

日程第3 議案第16号 令和元年度柴田町一般会計補正予算

○議長（高橋たい子君） 日程第3、議案第16号令和元年度柴田町一般会計補正予算を議題とい

たします。

町長の提案理由の説明を求めます。町長。

〔町長 登壇〕

○町長（滝口 茂君） ただいま議題となりました議案第16号令和元年度柴田町一般会計補正予算についての提案理由を申し上げます。

今回の補正は、ふるさと柴田応援推進事業及びほ場整備に伴う埋蔵文化財発掘事業の実施に必要な経費を追加するものです。

これらの財源として、ふるさと柴田応援寄附金、県支出金、財政調整基金からの繰入金を充当しております。

歳入歳出それぞれ2億3,340万2,000円を追加し、補正後の予算総額を129億6,608万5,000円とするものです。

詳細につきましては担当課長が説明いたしますので、原案のとおり可決くださいますようお願いいたします。

○議長（高橋たい子君） 補足説明を求めます。財政課長。

○財政課長（鈴木俊昭君） それでは、詳細説明をいたします。

議案書1ページをお開きください。

議案第16号令和元年度柴田町一般会計補正予算です。

第1条です。

今回の補正は、ただいま町長が提案理由で申し上げましたとおり、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億3,340万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ129億6,608万5,000円とするものです。

なお、今回の補正につきましては、ふるさと柴田応援寄附金が順調に伸びていることによるふるさと柴田応援推進事業に要する経費、及び中名生・下名生地区でのほ場整備区域の埋蔵文化財発掘事業において精査した結果、本調査においての作業員の人員増などが必要になったために補正計上するものです。

4ページをお開きください。

歳入です。

17款3項3目2節社会教育費委託金743万6,000円の増は、埋蔵文化財発掘調査業務委託金として県からの委託金が増額されるものです。

19款1項2目1節ふるさと応援寄附金1億5,000万円の増は、今年度の寄附金の見込み額を

補正するもので、補正前と合わせて2億円を見込むものです。

20款1項2目基金繰入金につきましては、財政調整基金から補正財源として7,596万6,000円を繰り入れするものです。これによります財政調整基金の残高は10億4,613万243円となります。

次のページになります。

歳出です。

2款1項2目8節報償費から14節使用料及び賃借料までは、ふるさと応援寄附に対する返礼品や業務委託料、システム利用料に要する経費を計上するもので、25節積立金1億5,000万円はふるさと柴田応援基金への積立金で、補正前と合わせて本年度基金積立金は2億円を見込んでおります。

10款5項3目しばたの郷土館費の7節賃金及び11節需用費の850万円の増額は、それぞれ中名生・下名生地区ほ場整備内の埋蔵文化財発掘事業についての経費について補正計上するものです。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（高橋たい子君） **これより質疑に入ります。**質疑は歳入歳出一括といたします。質疑に当たってはページ数を示して行ってください。

質疑ありませんか。7番秋本好則君。

○7番（秋本好則君） 秋本です。5ページの埋蔵文化財発掘事業費の850万円についてお聞きしたいと思います。この内訳を見ますと、臨時職員賃金となっているんですが、この臨時職員というのは埋蔵文化財の調査員を指すのでしょうか。教えていただきたいと思います。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長（藤原政志君） 調査員ということにはなりませんけれども、例えば調査専門員ということではなく、一般的に作業する土木作業というようなイメージの作業員ということでございます。

○議長（高橋たい子君） 再質疑ありますか。どうぞ。

○7番（秋本好則君） 埋蔵文化財の調査のときには、県の文化財課から認められた調査員というのが必ず立ち会うことになっているんですが、それは柴田町の場合はどうなっているのでしょうか。そして、この職員が常駐という形になるのか、それともこのほ場整備が終わればなくなってしまうのか。というのは、例えば柴田町でもかなり埋蔵文化財と住宅なんかがつぶつかるのが随分あるんですね。そういったときに、その調査員がいれば文化庁からの補助金が出てそ

れをカバーしてくれるという制度があるんですけども、柴田町はその調査員がいないがために全部自己負担で行っているというのが現状なんですね。これ私一般質問でも取り上げたことがあるんですけども、なぜその調査員を置いてくれないのかということなんですけれども、その常駐する調査員なのかどうかについて、そしてこれからどういうふうを考えているのかについてお聞きしたいと思います。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長（藤原政志君） まず、町のほうに、今年度からなんですけど文化財の専門職員ということで1人配置しております。それから、今回の調査に当たっては、もちろん県の文化財課の調査員ということで2人派遣していただいて、共同で行っているところでございます。

○議長（高橋たい子君） 再々質疑どうぞ。

○7番（秋本好則君） わかりました。専門職員がいるということであれば、これから柴田町で同じような事案で文化財の発掘調査が必要になってきた場合には、文化庁のほうにその旨を申告できると判断してよろしいんですね。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長（藤原政志君） はい。申請はできると考えております。ただ、その200万円という金額的なものがございまして、そちらのほうは今後の状況によってということになると思います。

○議長（高橋たい子君） ほかに質疑ありませんか。16番白内恵美子さん。

○16番（白内恵美子君） 白内です。4ページの19款寄附金、ふるさと応援寄附金ですが、当初予算と合わせると2億円の見込みということなんですけど、今年度まだ3カ月過ぎたところで、順調というのはどのくらいの順調さというか、6月末では幾らになっていて、そして3月末では2億円をきつと見込んでいるということなんですけど、根拠があれば説明いただきたいと思います。

それから、5ページの教育費の埋蔵文化財発掘事業費のことなんですけど、今後の詳しいスケジュール、事業内容等を説明願います。

以上です。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。最初に、まちづくり政策課長。

○まちづくり政策課長（平間雅博君） まず、6月末現在の寄附額でございますが、昨年度平成30年度は1,414万円でしたが、今年度は2,970万円ほどふえまして、前年度と比べて約3倍、4,391万5,000円になっているところでございます。

なお、今月に入りまして、きのう現在でもう既に、当初予算で5,000万円計上しておったんですけれども、この5,000万円を超える額となっているところでございます。

ということで、例年年を追うごとに、柴田町を、町を応援したいという一定数の方がいらっしやるということで、寄附額、順調に伸びているということがございます。大変ありがたいことだと思っているところでございますが、去年は2億円を達成しまして、今回もまず今までの伸びを鑑みますと、昨年同様に、昨年初めて2億円を突破したわけなんですけれども、2億円を確保することはまず間違いのないのではないかと思います、2億円ということで計上させていただきますところでございます。

○議長（高橋たい子君） 次に、生涯学習課長。

○生涯学習課長（藤原政志君） 今後ですけれども、まず後期分ということで、下名生の宮前、西館館跡地区について本調査を実施するというところで計画しております。

それからその後、来年度、これはまだ調整段階ではありますが、葉坂地区の本調査を予定しております。対象エリアとしましては約2,700平方メートル、ただこれ全てやるということではなく、遺構をなるべく傷つけないような形で面積を絞って調査していくということで考えております。

それから、令和4年度に中名生字東洞明田、こちら本調査予定でありますけれども、全てにつきましては場整備との関連がございますので、そちらのほう県とこちらの農政課含めて調整しながら決めていきたいと思っております。

○議長（高橋たい子君） 再質疑ありますか。どうぞ。

○16番（白内恵美子君） 埋蔵文化財発掘事業のほうの今年度分を、もう少し詳しく説明願います。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長（藤原政志君） 宮前、西館館跡ということになりますけれども、こちら昨年度確認調査で、ここ本調査必要かもしれませんねということで対象になったところなんです、こちらの面積につきましては約2,500平方メートルということで、下名生の熊野神社ありますけれども、あそこの隣接する地域ということで行う予定です。それから、こちらちょっと作付されているところでもありますので、刈り取りが終わって、10月できるだけ早く調査したいと思っております。

以上でございます。（「熊野神社は中名生だから」の声あり）

○議長（高橋たい子君） 再々質疑ありますか。どうぞ。

○16番（白内恵美子君） そうしますと、刈り取りが終わってからということなのですが、専門職員は1名配置されているというのは、今現在その準備に取りかかっているというふうに考えるのですか。いつから、どのような形で、それから県から2名という職員配置についても説明願います。

○議長（高橋たい子君） 答弁を求めます。生涯学習課長。

○生涯学習課長（藤原政志君） 後期分で今年度行う分につきましては宮前、西館館跡なのですが、こちらは先ほど申し上げたとおり10月の早い段階から調査に入りますが、もちろんこちらの町の専門職員が配置されますし、あとは県の文化財課から専門の調査員が2名来まして実施していくという内容でございます。あと何かありましたか……（「10月から配置」の声あり）それから、10月からなんですけれども、ただ余り寒い時期になると大変作業が滞ってくるといこともございますので、できれば12月いっぱいまでで何とか終わらせたいとは思っているところでございます。

○議長（高橋たい子君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高橋たい子君） 討論なしと認めます。

これより、議案第16号令和元年度柴田町一般会計補正予算の採決を行います。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（高橋たい子君） 起立総員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

7月会議に付された事件は全て終了しました。

これで本日の会議を閉じます。

これをもって令和元年度柴田町議会7月会議を閉じます。

ご苦労さまでした。

午後1時47分 休 会

上記会議の経過は、事務局長大川原真一が記載したものであるが、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

令和元年7月12日

議 長 高 橋 たい子

署名議員 14番 有 賀 光 子

署名議員 16番 白 内 恵美子